

千葉市立柏台小学校 校長 佐藤 典子

7月は、ひまわり学級1年生から6年生までの 10 人が過ごしたげんきキャンプがありました。

千葉市少年自然の家の田んぼを歩きながら大きなシャボン玉を作ったり、七夕飾りを他校の友達と競いながら完成させたりし、楽しい気持ちや友達の声に支えられて、最後までやり遂げる姿がたくさん見られました。夜、初めて家を離れて一人で泊まった低学年は、寂しさより満足感と疲れであっという間に眠っていました。

また、2年生は、栄養教諭と一緒にトウモロコシの皮むきをしました。むきながら、トウモロコシの皮はだんだんと薄くなっていくこと、粒は一つ一つ色が違うことなどに声をあげていました。この日の給食は、2年生がむいた蒸しトウ



モロコシです。いつもより何倍もおいしく感じました。

さあ、子どもたちにとって自分で調整できる時間のたくさんある夏休みが始まります。粘り強く挑戦し、「できた！」という気持ちを多く味わってほしいと思います。

夏休み明けにひと回り大きく成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。